

令和元年度 経営協議会学外委員からの意見に対する対応状況

	経営協議会等	学外委員からの意見	本学の対応状況
1	第 93 回経営協議会 (R1. 5. 31 開催)	大学等連携推進法人（仮称）の枠組みがまだできていないが、山梨県・山梨県立大学との連携協力に関する協定を結んだことにより、個別の作業を進め、文部科学省で検討している制度の枠組みができ次第速やかに申請したい。	令和元年 12 月 18 日に、山梨県立大学と「一般社団法人大学アライアンスやまなし」を共同で設立した。また、検討体制等を構築するなど、連携事業の実施に向けた準備を進め、令和 2 年度は本格的な事業の展開に向けた取組を加速させ、実施可能な取組を積極的に展開することとした。 現在制度設計中である“大学等連携推進法人（仮称）”の全国初の認定を目指しており、制度の動向を注視し、準備を進めていくこととした。
2	第 94 回経営協議会 (R1. 6. 21 開催)	文部科学省では、実績報告書を基に注目すべき事項等を整理・評価することから、「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）（平成 30 年 11 月 26 日・中央教育審議会）」で提言されている施策に関連した事項のうち、山梨大学が取り組んでいる事項を強調した方が良いのではないか。	意見を取り入れ、実績報告書の記述を工夫することとした。
3	第 94 回経営協議会 (R1. 6. 21 開催)	メカトロニクス分野と医学分野の融合研究プロジェクトの実施などで、企業等から外部資金を更に獲得できるのではないか。	意見を取り入れ、対応を検討することとした。
4	第 94 回経営協議会 (R1. 6. 21 開催)	東京大学医学部附属病院などでは、病院の敷地内に調剤薬局を誘致（事業者の資金で施設を建築）し、その施設を有効活用しているが、山梨大学ではそのような取組を行っているか。	意見を取り入れ、対応を検討することとした。
5	第 95 回経営協議会 (R1. 9. 25 開催)	内閣府「令和元年度国立大学イノベーション創出環境強化事業」を通じて、医療を変える仕組みになることも考えられるので、大学と連携・協力して良いプラットフォームを作りたい。	事業の要となるクリエイティブマネージャーを人選し、事業をスタートさせた。

6	第 95 回経営協議会 (R1. 9. 25 開催)	現在、貧困化による高等教育機 会の減少が問題となっている。こ れに対し、大学の役割として、社 会人になった後でも、大学または 大学院で学ぶことができるような 仕組み作りを検討してほしい。	現在実施しているリカレント教育を 今後も継続して実施していくこととし た。
7	第 97 回経営協議会 (R2. 1. 24 開催)	第 3 期中期目標・中期計画にお いて 4 年目となる令和元年度の実 績評価は重要となる。次期の運営 費交付金の配分に繋がるため、自 己評価を記載する際は工夫して取 り組んでもらいたい。	意見を取り入れ、今後の評価につな がるよう、自己点検・自己評価の記載 を工夫することとした。
8	第 98 回経営協議会 (R2. 3. 17 開催)	「国立大学改革方針」を踏まえ た文部科学省との徹底対話の趣旨 としては、第 4 期中期目標・中期 計画の作成において重点事項を計 画に活かし、評価指標に基づく大 学評価に繋がることになる。よっ て、山梨大学の事業が評価される ようトピックとして何を重視すべ きか工夫して取り組んでもらいた い。	意見を取り入れ、今後の評価につな げるため、重点事項を計画に活かせる ように強化・充実を図ることとした。